

一

般

質

問

平山 伸二議員

(公明党議員団)

診療報酬改定による
地域医療への影響

問 二十二年診療報酬改定で医療はどう変わるのか

また、診療明細書は無料発行が義務化されるが、患者へのメリットを聞きたい。

答 今回の改定では、がん治療・認知症医療・感染症対策・肝炎対策等の推進、質の高い精神科入院医療の推進や歯科医療の強化といった視点で充実を図る内容となっている。また、後期高齢者という年齢に着目した診療報酬体系の廃止等の項目も含まれており、これらが改定の骨子となっている。

診療明細書の発行義務化については、患者が自分の身体は自分で守る意識を持ち納得して医療を受けられるよう医療情報の透明化を実現する重要な一歩であることから、患者にとって大きなメリットと考えられる。

橋積 和雄議員

(日本共産党議員団)

RDF 発電事業の見直し

問 同事業は、当初から指摘していたとおり、安全性・採算性・将来性で行き詰まり課題が山積している。

同事業の今日までの評価と総括及び課題を聞きたい。

答 本格稼働後は想定外のトラブルが重なったが、ここ数年間は安定操業を継続している。また事業運営では、RDF処理委託料を二度改定するなど厳しい状況だったが、売電単価の見直し等で大幅に経営改善が図られている。一方、ダイオキシン類対策を可能とし、広域的な一般廃棄物のごみ処理システムが確立された点では大きな成果と考える。今後の事業運営では、RDFの確保が重要な課題であり、安定運営に向けたさらなる新規受け入れを今後とも県等の関係先に働きかけていきたい。

平山 光子議員

(社民・民主・護憲クラブ)

全国学力・学習状況調査

問 国は二十二年度の同調査を抽出調査として実施する旨の通知をしている。

福岡県では全自治体が参加するようだが、これまで三年間の実施で序列化や点数競争が進み、学校教育の本来の目標がゆがんできているのではないかと危惧するが、認識を聞きたい。

答 同調査の目的の重要性を認識して、国と県との比較の中で、本市の傾向や特色、改善のあり方等を各学校に周知している。

各学校では、同調査のほか、全国体力・運動能力、運動習慣等調査など、国や県の調査を実施しており、各調査の趣旨に沿った活用を図り、改善に努めているものと認識している。

今後は、さらに趣旨の徹底に努め、検証と改善を深めていきたい。

徳永 春男議員

(自由民主党議員団)

大牟田の食育推進計画

問 食育推進計画に対する認識と取り組みを聞きたい。

答 食育は、食を通じて知育、徳育及び体育の基礎をつくり上げることであり、心身の健康を守り、豊かな人間形成を図る上で極めて重要と認識している。

同計画の推進に当たっては、庁内の大牟田市食育推進委員会を中心としながら、外部委員等からなる(仮称)大牟田市食育推進会議を設置して、情報及び意見交換の促進や広い視野からの進捗管理も行っていくたい。

二十二年度は、健康づくり市民大会・みんなの健康展と同時開催で(仮称)健やか住みよか食育フェアを実施するなど啓発に努めたいが、庁内、関係機関との連携を一層図り、計画の基本理念や目指す食育像に近づくための取り組みを進める。

塚本 岩夫議員

(公明党議員団)

コミュニティバス事業

問 西日本鉄道株は、二十二年秋以降に吉野線、米の山・黒崎団地線、上官線のバス路線の一部区間を廃止予定と発表したが、市としてどう対応するのか。

答 今回の発表は、高齢者等の交通弱者にとって切実な問題と受けとめている。西日本鉄道株は、路線の存続に関し、補助金の交付等があれば申請を取り下げする場合もあると言っている。

よって、会社の経営状況等を聞き、その上で確保すべき生活交通の水準や公的負担のあり方を慎重に検討したい。また、廃止予定路線の状況を踏まえ、本市の合意形成を図る場として、バス事業者等で構成される組織を早急に立ち上げ、県バス対策協議会と連携して、利用者の利便性の確保に向けた検討・協議を行いたい。